

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
22 尾鷲市	対談項目1 高校生地域人材育成事業「尾鷲高校まちいく」について	「人づくり」に対する継続的な支援	尾鷲高校では、平成26年度より三重県南部地域活性化基金を活用し、高校生地域人材育成事業に取り組んでいる。 本事業は、実践的な人材育成プログラムで、高校生が地域に出向き地域の課題を調査し、その解決策を考えることで、自分たちの地域は自分たちの手で創り出そうという当事者意識の醸成を図るものである。 「人づくり」については、大変息の長い取り組みである。県においても継続的なご支援をお願いしたい。	この取組は、短期間で成果が出るものではなく、学校や地域の理解のもと、地道に続けていくことで、徐々に地域に関心を持つ生徒が増えたり地域外へ進学しても地元に戻ってきたりというようなことになると考えているので、来年度以降もできる限りこのような市町の取組支援を続けていきたいと考えている。
尾鷲市	対談項目1 高校生地域人材育成事業「尾鷲高校まちいく」について	相乗的な効果を発揮するような三重県の取組の検討	また、この「尾鷲高校まちいく」の取り組みと相乗的な効果を発揮するような、三重県の取り組みもご検討いただくようお願いしたい。	県では、集落支援に関わる学生や地域おこし協力隊など地域づくりに関わる人々の発表の場を設け、互いに意見交換することでそれぞれのスキルアップやネットワークづくりをはかることを目的に、平成27年3月に「地域づくりイキイキフォーラム」を開催し、尾鷲高校の生徒のみなさんも、このフォーラムで取組を発表していただいた。 今年度もフォーラムの開催を予定しており、県としては、このようなフォーラムでの情報交換や意見交換などを通じて、取組の充実やネットワークづくりを支援していきたいと考えている。 行政において部署を超えて違う事業を連携させることは、苦手な部分があるが、様々な事業が橋渡しされ、相乗効果が上がっていくように、しっかり関心を高めて横のつながりができるようにしていきたい。
尾鷲市	対談項目1 高校生地域人材育成事業「尾鷲高校まちいく」について	人材の継続育成に対する教育現場の理解の促進	この取り組みを継続的に進めていくためには、教育現場における理解が大変重要である。尾鷲市については三重県が、地域の未来を担う人材を継続して育成していくためにも、教育現場における理解がさらに進むようご協力よろしくをお願いしたい。	教育委員会事務局も地域の素晴らしさを再発見・再確認できる学習活動として重要な取り組みとして認識しているので円滑な運営ができるように働きかけをしたい。教育現場の理解がしっかり進むように、その尾鷲高校が地域で期待していただいているこのような取組に参画できるように、継続して支援していきたい。
尾鷲市	対談項目2 第1次産業における従事者対策について	林業大学の誘致について	本市の第1次産業への従事者は、尾鷲市人口ビジョンでの分析の結果、平成22年度の時点で、2人に1人が60歳以上で、となっており、今後も割合の上昇が続くものと推測されております。後継者、従事者の確保は、地区の過疎化と相まって、関連産業の維持、発展にかかる重要な課題となっている。 知事の政策集に記載されている林業大学の本市への誘致の可能性について、お伺いしたい。	林業大学校については、将来の三重県の森林・林業について関係者と議論を深めつつ、あり方について、検討を進めていく。 併せて、林業大学校の校舎や実習林の確保など、立地条件や費用の面なども十分検討を行っていくこととしている。 その際には市町のみなさんの意見もお聞きするとともに、さまざまな協力を頂きたいと思っているので、積極的なご提案をいただきたい。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
尾鷲市	対談項目2 第1次産業における従事者対策について	地域資源を活用した専門学科の誘致について	同じく知事の政策集に「地域密着型の専門学科の設置」が記載されており、三重県立尾鷲高等学校における地域密着型の食の関連や1次産業に関連した先端技術を学べる専門学科の設置の可能性についてもお伺いしたい。	北勢地域においては工業高校の専攻科を進めていきたいと考えているが、南部地域においては産業の特性に合わせた学ぶ場が必要ではないかと考える。教育が地方創生のために重要であるが、従来教育課程とか従来の文部科学省を中心とした教育体系の中でしか考えられない方が多いので、意識変革のための取り組みをしなければならないし、保護者や産業界のニーズをとらえる取り組みが必要であると考えている。あわせて、中学校卒業者が減少していく中で、既存の学科を保持したまま新しい学科を設置することは難しいので地域のみなさんと議論しなければならない。地域の皆さんのご提案も踏まえて積極的に考えていきたい。
尾鷲市	対談項目2 第1次産業における従事者対策について	水産業における担い手対策について	本市では、漁業への就業意欲のある若者を対象とした3泊4日の漁業体験教室や、6ヶ月の長期研修制度により、就業支援を行ってきたが、新たに平成24年度からは尾鷲漁業協同組合が「早田漁師塾」を開校している。「早田漁師塾」は県及び漁連等の関係機関の支援を受けて発足し、必要経費の一部を、県から平成24年度から2ヶ年にかけて支援をいただいたところである。今後、事業の継続や拡充を図るにあたり、県政における県費補助金の弾力的な対応についても検討をお願いします。	地域外の意欲ある若者の漁業への就業・定着を促進するため、漁協が取り組む人材育成や就業支援を行う「漁師塾」を支援しており、現在、尾鷲市の「早田(はいだ)漁師塾」をはじめ3つの漁師塾が活動している。 引き続き、県も漁師塾の運営に協力していくとともに、平成27年度からは、3つの塾ごとに行われてきた講座を1か所合同開催するなど、ネットワークとかカリキュラムの充実もやっていきたい。 来年度からスタートするみえ県民ビジョンの第2次行動計画の議論の中で、新規漁業就業者数も当然目標にしながら、どういうふうにも新規漁業就業者を確保していくかということも、より精緻に分析しながら検討しているところであり、新たな担い手確保のために、これまで以上にしっかり知恵を絞って取組をやっていきたい。
尾鷲市	対談項目3 地方創生関連事業における県と市町の連携について	地方創生関連事業への財政支援について	県と市町が歩調を合わせて、人口減少社会や超高齢社会への対策に向けて取り組んでいくことが、より効果的かつ効率的であることと認識している。 平成28年度の国の地方創生関連概算要望において、「地方創生の深化のための新型交付金」として、1,080億円の予算規模を示されているが、本年度取組んでいる先行型の交付金との大きな違いとして、交付金の充当率が、国予算要求の段階ではあるが、「10/10」から「5/10」に変更されることが予定されている。 しかし、交付金単独(5/10が一般財源)では、予算的に事業の組み立てが困難となることが予測されているところである。 については、目的や方向性を同じくする市町地方創生関連事業について、既成の補助メニューの活用や補助金の新設など財政的な支援をお願いします。	国の新型交付金については、現在、制度設計が進められているが、国は最近、地方負担を求めていくという傾向もあるので、全国知事会などから、今後も引き続き国に対して、地方の意見等を十分に踏まえてほしいということについて、我々も申し上げていきたい。 5/10になったので、その5/10を補てんすることを目的とした新たな交付金制度というのを県単独でつくるという選択肢はないが、地方創生の交付金に県の補助金を充てることができるかどうかは研究していきたいと考えている。地方創生に挙げていただいた事業にその事業に充てるといった形にするのか、既存のメニューをうまく組み合わせさせていただくのか、具体的に個別に相談させていただければと思う。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
尾鷲市	対談項目4 首都圏における情報発信について	三重テラスにおけるイベント集客について	<p>都市部での情報発信について、その重要性を再認識するとともに、積極的にやらなければならないと思っている。</p> <p>2013年9月に三重の魅力を発信する首都圏営業拠点「三重テラス」がオープンしたが、本市においては、首都圏における情報発信の場や機会が少なく、三重テラスの存在は大変貴重なものとなっている。また、本市の特産品や食材も多数取扱っていたが、販路開拓や情報発信面において、大変ありがたい存在となっている。今後も引き続き、三重テラスにおける本市特産品の拡充及び観光・移住定住に関する情報発信へのご協力について、よろしく願います。</p> <p>本市においては、今後、首都圏域での情報発信を進めるにあたり、2点のお願いがある。まず、本市でも活用させていただいているが、三重テラスの多目的ホールが2階にあるため、イベント集客の面で課題がある。案内板の設置や情報スペースの確保等、誘客ツール等の工夫について、ご検討をお願いする。加えて、波及効果が大変大きい首都圏における各種メディアへの対応や情報発信などについて、さらに積極的に進めていただくよう、併せて願います。</p>	<p>集客については、入口にあるデジタルサイネージを活用して案内板みたいな形にしたり、ショップのところにテーブルを置いてわかりやすくしてもらいたいような形のものもやったりしており、そういう経験ノウハウの蓄積があるのでご相談いただければ提供できると思う。</p> <p>アナログではあるが、ゆるきやらや変わった格好をした人がチラシを配ることも結構効果がある。</p> <p>またフリーペーパーやコミュニティラジオを活用した事前広報、集客対策のノウハウの提供もできるのでご活用いただければと思う。</p>
尾鷲市	対談項目4 首都圏における情報発信について	首都圏におけるメディア対応や情報発信について		<p>三重テラスは、効果が上がっているものと上がっていないものがありますが、かなり地道に新聞社とか来場者への営業にも言っているのが、是非ご活用いただければと思うし、東京にある資源を全体的に連携して有効に活用するという視点は重要であると思うので、いろいろご活用いただければと思うし、私たちもご相談にのって進めていきたいと思う。</p>